

北海道浮魚ニュース

平成 29(2017)年度 5 号

2017 年 6 月 19 日

道総研水産研究本部

釧路水産試験場

ホームページ：<http://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/central/section/shigen/ukiuo/index.html>

◎道東太平洋スルメイカ資源調査結果

- スルメイカの分布密度は前年よりやや高い。
- 体サイズのモードは 15cm。

調査期間：2017 年 6 月 7～15 日

調査海域：道東太平洋（北緯 41 度ライン周辺の 6 調査点）

調査船：北辰丸（釧路水産試験場所属）、イカ釣機 5 台装備

1. 水温分布（図 1）

調査点の表面水温は 7.8～15.4℃で、全ての点で前年（13.4～18.2℃）より低い値でした。同様に 50m 深水温も 2.3～11.1℃と全ての点で前年（6.7～15.6℃）より低い値となっています。

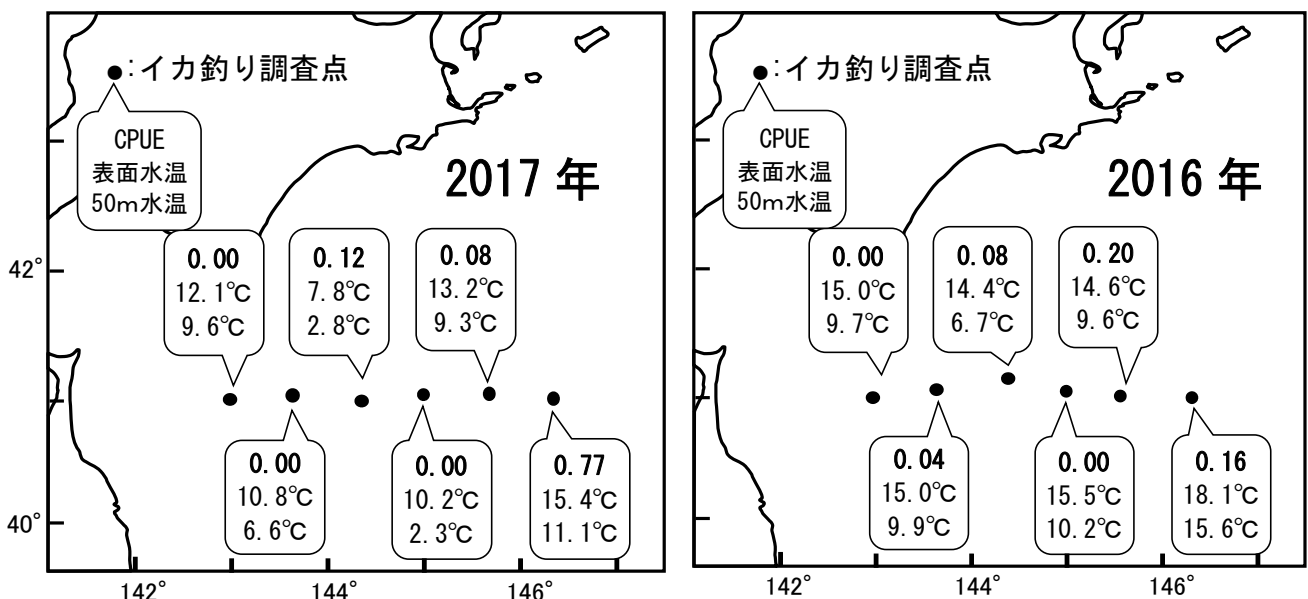


図 1 6 月の道東太平洋におけるスルメイカの分布密度と表面および 50m 深水温
(左図：2017 年，右図：2016 年)

※分布密度は CPUE (イカ釣機 1 台 1 時間当たりの漁獲尾数) で示した。

2. 分布密度（図 1、図 2）

6 調査点でスルメイカの分布密度を調べた結果、分布密度（CPUE：イカ釣機 1 台 1 時間当たりの漁獲尾数）は 0.00～0.77 でした（図 1）。スルメイカは 3 調査点で漁獲があり、6 調査点の平均 CPUE は 0.16 と前年（0.08）をわずかに上回りました（図 2）。しかし、1993 年からの分布密度の平均値（1.13）よりも低い値となりました。

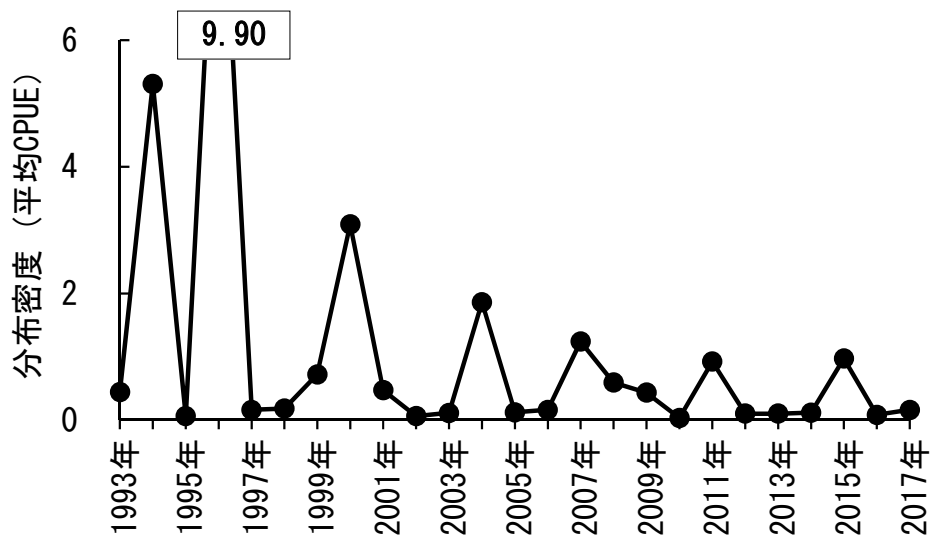


図2 スルメイカの分布密度の経年変化
※各年の分布密度は全調査点のCPUEの平均で示した。

3. スルメイカの大きさ (図3、表1)

スルメイカの外套長 (胴長) の範囲は11~17cm (前年:14~18cm) にありました。15cmにモード (最も多く漁獲されたイカの大きさ) が見られ、ほぼ昨年および近年平均と同じくらいの大きさでした。

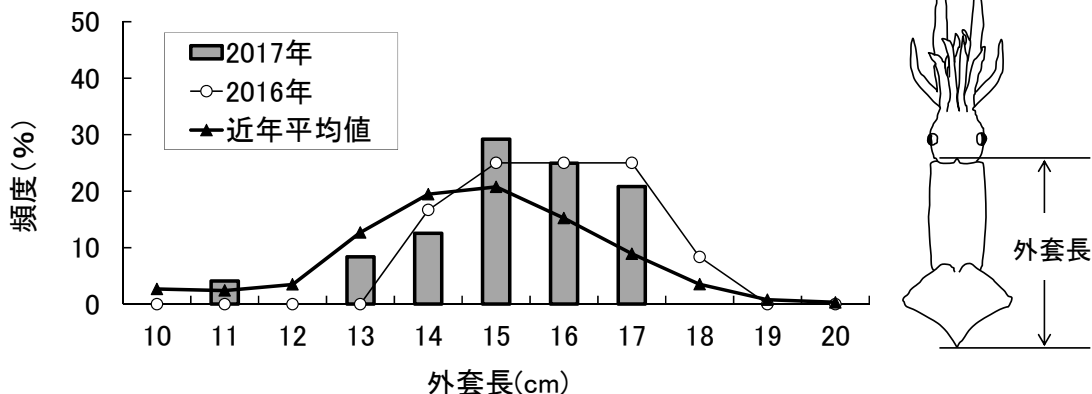


図3 スルメイカの外套長組成
(近年平均値: 過去10年平均)

表1 2009~2017年のスルメイカ調査結果

調査日程	漁獲尾数	平均CPUE	外套長組成		調査点数
			範囲(cm)	モード(cm)	
2009年 6/9~17	165	0.43	10-17	14	8
2010年 6/7~14	8	0.03	13-16	15	7
2011年 6/7~14	268	0.92	6-19	16	7
2012年 6/9~16	29	0.10	6-11	10	7
2013年 6/3~10	15	0.10	5-16	16	7
2014年 6/2~9	20	0.11	13-18	15	7
2015年 6/4~12	159	0.97	13-20	16	7
2016年 6/7~13	12	0.08	14-18	15-17	6
2017年 6/7~15	24	0.16	11-17	15	6